

A ñ
é ß

STARTER STORY ・ JAPANESE ・ A2

わすれた かさ

わすれた かさ

ある あめの ひ、けんたさんは かいしゃから いえへ かえって いました。そとは つよい あめでした。みんな かさを さして、いそいであるいて いました。

けんたさんの くつは すこし ぬれて いました。みちには 大きな みずたまりが ありました。くるまが とおると、みずが はねました。けんたさんは みちの はしを あるきました。

けんたさんは えきの ちかくの こうえんを とおりました。あめは すこし よわく なくなっていました。けんたさんは ベンチの ところで すこし やすみました。

こうえんの きは あめで ぬれて、みどりが とても きれいでした。とおくで 子どもの こえが きこえました。けんたさんは ふかく いきを すいました。あめの においが しました。

その とき、ベンチの うえに 小さな かさがありました。あかい かさでした。だれかが わすれた ようでした。けんたさんは まわりを みましたが、だれも いませんでした。

「だれの かさだろう」と けんたさんは おもいました。かさには 小さな ねふだが ついて いました。そこには 「さくら」と かいて ありました。じは とても きれいでした。

けんたさんは その かさをもつて、ちかくの おみせに いきました。「すみません、この かさを しりませんか」と てんいんに ききました。でも てんいんは しりませんでした。

「だれか さがしているか もしれませんね」と てんいんが いいました。「そうですね」と けんたさんは いいました。けんたさんは また こうえんの ほうへ もどりました。

こうえんの 入り口で、けんたさんは わかい おとこの ひとに ききました。「この あかい かさを しりませんか」「いいえ、しりません」と その ひとは いいました。けんたさんは こまりました。

けんたさんは こうえんの なかを ゆっくり あるきました。はなを みて いる おばさんに ききました。「この かさの もちぬしを しりませんか」「さあ、わかりません」と おばさんは いいました。けんたさんは すこし がっかりしました。

「もう すこし まって みよう」と けんたさんは おもいました。そして あかい かさをもって、ベンチの ちかくに たちました。とおくの そらが だんだん あかるく なって きました。あめのおとが しずかになりました。

そのとき、こうえんの むこうから 一人の おばあさんが あるいて きました。おばあさんは こまった かおで、なにかを さがして いました。「あの…」と けんたさんは こえを かけました。

「もしかして、この かさを さがして いますか」と けんたさんは ききました。おばあさんは あかい かさを みて、とても うれしそうな かおを しました。「ああ、それです。わたしの かさです」

「ねふだに さくらと かいて ありました」と けんたさんが いいました。「ええ、さくらは わたしの なまえです」と おばあさんは いいました。「よく みつけて くれましたね」

「まごから もらった たいせつな かさなんです。さっき ベンチに わすれて しまいました」と おばあさんは いいました。けんたさんは かさを わたしました。

「この かさを さしていると、まごの ことを おもいだすんです」と おばあさんは しずかに いいました。「とても すてきな かさですね」と けんたさんは いいました。

「まごは いま とおくに すんで います。なかなか あえません」と おばあさんは いいました。「でも この かさがあると、まごが そばに いるような きが するんです」けんたさんは しずかに うなずきました。

「ありがとう ございます。ほんとうに たすかりました」と おばあさんは なんども おれいを いいました。けんたさんは 「いいえ、よかったです。みつかって ほんとうに よかったです」と わらいました。

おばあさんは 「あなたは やさしい ひとですね」と いいました。そして かばんから あめを 一つ だして、けんたさんに くれました。「これ、どうぞ。きをつけて かえって くださいね」

けんたさんは あめを もらって、ありがとうと いいました。あめは もう やんで いました。そらの あいだから ひかりが すこし みえました。

おばあさんは あかい かさを むねに だいて、ゆっくり あるいて いきました。とちゅうで いちど ふりかえって、けんたさんに 手を ふりました。けんたさんも 手を ふりました。

けんたさんは ベンチに すわって、もらった あめを たべました。あまくて、すこし レモンの あじが しました。「いい あじだな」と けんたさんは おもいました。

いえに かえる みち、けんたさんの こころは とても あたたかかったです。小さな ことでしたが、いい 一日に なりました。けんたさんは おばあさんの えがおを おもいだして、しずかに わらいました。

OQOU STARTER LIBRARY

This story is from oqou's free starter library, graded at A2 for Japanese readers.

Read it interactively in the oqou app: tap any word for an instant translation, listen with natural narration, and carry your saved vocabulary into every story you read next.

oqou.app

[Download oqou on the App Store](#)

oqou •